

# 志摩クリエイターズオフィス 志摩の小庭 いのこ野

## 「木づかい宣言」

令和8年3月 ～ 令和11年2月

「志摩の小庭 いのこ野」は伊勢志摩国立公園・賢島対岸にある2800坪の起伏ある敷地に、緑豊かな自然林と、国登録有形文化財である「旧猪子家住宅、蔵」、県産材と再利用木建具等を使用して建てた「いかだ丸太の家」が建ち、暮らし、文化、アート、自然などについて人が寄り考え実践する「人の場所」として整えてきました。

令和5年6月に、新たに県産木材と廃材を使用しDIYで作った「いのこ野テラス」は樹木、森、自然の中に身を置く空間として効果的な場所になりました。

「いかだ丸太の家」とその延長のウッドデッキ「いのこ野テラス」は、①志摩という国研究所 ②気候風土と住まい方研究所 ③NGO国際海洋研究所日本支部志摩分室、の同じ関心を持つ専門家や若者が集い、意見を交わし楽しむ場になっています。

今後も「いのこ野」を通じて、木づかいの意識を周囲に発信していきたいと考えています。

## 木づかい運動計画書

志摩市阿児町志摩市阿児町神明693-8  
「志摩の小庭 いのこ野」内

下記施設を活用して、来訪者の方へ木材の魅力をPRします。

施設名：「いかだ丸太の家」  
竣工：令和2年3月  
県産材使用部分：施設構造部、内装  
樹種：ヒノキ（筏丸太材・紀北）、スギ（飯高）、ツガ（熊野）、マツ（伊勢）  
県産材使用量：58.5m<sup>3</sup>

施設名：「いのこ野テラス」  
完成年月：令和5年6月  
県産材使用部分：床面



「いかだ丸太の家」と「いのこ野テラス」



建具・家具は全て再利用古材